

Burgenland ブルゲンラント州

Neusiedlersee ノイジートラーゼ



Weingut Kracher

ワイングート クラッハー

オーストリア国内、いや、今では全世界のワインラバーを魅了してやまない貴腐ワインの造り手であるクラッハー。



アヒル



牛



点在する湖

彼らが居を置くイルミッツはアペトロン、ポードースドルフの3つの村が集まった“セーヴィンケル”と称される産地からなる。

この産地は大小多数の湖（約40ヶ所）が点在し、その湖の間にブドウ畑が存在しているという独特の地形である。ノイジートラーゼ湖周辺は国立公園に指定されている為、キジ、アヒル、スズキ、なまず、うなぎなど多くの生物が生息し、自然そのままを満喫できる素晴らしい場所です。

この地方の気候は大陸型のパノニア気候。夏は乾燥し、熱く、冬は急激に寒くなる。この気候の影響によりノイジートラーゼ湖の水面に気候の変化が起こり、霧が発生し、貴腐菌が付きやすくなる。素晴らしい天然甘口ワインの生産に欠かせない条件です。



ノイジートラーゼ湖



畑

現在20ヘクタールの畑を所有（約53か所に畑を所有）。

Welschriesling(ヴェルシュリースリング)、Chardonnay(シャルドネ)、Traminer(トラミナー)、Weissburgunder(ヴァイスブルグンダー)、Scheurebe(ショイレーベ)、Pinot Gris(ピノグリ)、Blaufrankisch(ブラウフレンキッシュ)、Zweigelt(ツヴァイゲルト)等のブドウを栽培。砂がメインで構成されている畑と石がメインの畑があり、その畑の管理をおじいちゃんのAlois Kracher(アロイスクラッハー)が担当し、経理・事務をお母さんのMichaera(ミハエラ)が、偉大な父親の後を継ぎ現在の醸造責任者は息子のGerhard(ゲオハルト)になります。



クラッハーおじいちゃんとテッシュさん



ゲオハルトクラッハー



TBA No.8 2005

クラッハーといえば貴腐ワインというイメージがありますが、実は白ワイン2種類、赤ワイン3種類を醸造しています。白ワインはフルーティで飲みごたえがあり、赤ワインは、ブルゲンラント州が赤ワインの有名産地ということもあり、ライトボディーからフルボディーの最高品質のワインを醸造しています。特にブレンドワンは良い年の葡萄からのみ醸造されます。

世界の4大貴腐ワインの一つとして名を轟かせているクラッハー。

父親の代よりZwischen den SeenとNouvelle Vogueの2種類の製法を採用。前者は500~3000Lのアカシア樽を使用しゆっくりと丹念に発酵させ、アルコール分が低く、残留糖分の高い、爽やかでフルーティな貴腐ワインとなる製法。伝統を守りつつも、世界の貴腐ワインを研究し、特にソーテルヌワインに敬意を示した製法が後者で上品なバリック樽で熟成したシリーズで世界に通用する実力を示している。



TBAセット 2005

それ以外でもクラッハーはブルゲンラント州ではトップクラスのネゴシアンとして有名であり、また、オーストリアを代表するシュナップス、バルサミコの造り手であるGolles（ゴレス）とコラボレーションしたり、貴腐入りチーズやジェリー、ジャムなどの製造も幅広く、マルチな才能で認知されている。



クラッハー貴腐入りチーズ



クラッハーバルサミコ

2008年9月に日本で開催されるボトリティスフォーラム（シャトーイケム（仏）、エゴン ミューラー（独）、セプジ（洪）とともに主催される。でクラッハーの実力がまたわが国にも知れ渡ることでしょう。是非、一度、クラッハーのワインをお試し下さい。